

# 生誕200年 ピアノの魔術師 リスト 第1回 交響詩の創始者

## プログラム

今年ハンガリーの生んだ大作曲家、フランツ・リストの生誕200年に当たります。昨年はショパン、シューマンというピアノ音楽に優れた業績を残した二人の天才作曲家の記念イヤーでしたが、リストも“ピアノの魔術師”と呼ばれる程のピアノの名手であり作曲家でした。一方で、交響詩の創始者としても知られています。交響詩とは、文学的な詩的、あるいは絵画的な内容を持った単一楽章の管弦楽曲ですが、交響詩もこの一種と考えられる「表題音楽」の発展に大きな足跡を残しました。

リストがピアノ名技の頂点を示した「パガニーニによる超絶技巧練習曲」、美しく情感豊かな6曲の小品からなる「コンソレーション」、美しい旋律に魅了される「愛の夢」、「ため息」、ヴェルディの歌劇「リゴレット」第3幕四重唱に基づいた楽曲を巧みな技法と華麗なピアニズムで染めあげた「リゴレット・パラフレーズ」。グレゴリオ聖歌「怒りの日」の旋律（この旋律はベルリオーズの幻想交響曲最終楽章でも使われています）を元にヴィルトゥオーゾ的なピアノの妙技と重苦しいオーケストラとの掛け合いが不思議な魅力を醸し出す「死の舞踏」。そして「人生は死への一連の前奏曲である」というラマルティエヌの「詩的瞑想録」の一節から取られた交響詩「前奏曲」はリストの交響詩を代表する傑作です。

第1回目の今日は、良く知られた作品を中心にリストの世界を堪能してください。

\*\*\*\*\*

### フランツ・リスト (1811~1886):

#### パガニーニによる超絶技巧練習曲

第1番“トレモロ”/第2番“オクターヴ”/第3番“ラ・カンパネラ(鐘)”

第6番“主題と変奏”（第4番“アルパジォ”/第5番“狩り”は除く）

#### 3つの演奏会用練習曲～第3番変二長調“ため息”

アンドレ・ワッツ (ピアノ)

(1986.11.22 東京文化会館大ホールでのLive)

#### 3つの夜想曲～“愛の夢”第3番

ホルヘ・ボレット (ピアノ)

(1982年録音 London盤)

#### ピアノと管弦楽のための“死の舞踏”

シユーラ・チェルカスキー (ピアノ)

ミラン・ホルヴァート指揮オーストリア放送交響楽団

(1972.5.30 ウィーン・ムジークフェラインザールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

### フランツ・リスト (1811~1886):

#### コンソレーション (慰め)

第1番～第6番

アルド・チッコリーニ (ピアノ)

(1991.11.14 バリ、オウディトリウムデュセラムでのLive)

#### リゴレット・パラフレーズ

アルド・チッコリーニ (ピアノ)

(1994.11.21 東京文化会館大ホールでのLive)

#### 交響詩“前奏曲(レ・フレリユード)”

ヤーノシュ・フェレンチーク指揮ハンガリー国立管弦楽団

(1982.11.23 ビガドーホールでのLive)